

コン タ ク ト 先	会員機関名	神奈川大学 研究推進部			
	所在地	〒221-8686 神奈川県横浜市神奈川区六角橋3-27-1			
	電話	045-481-5661(代表)	FAX	045-481-2764	
	E-mail	<a href="mailto:sankangaku-renkei@kanagawa-u.ac.jp">sankangaku-renkei@kanagawa-u.ac.jp</a>	Webサイト(HP)	<a href="https://www.kanagawa-u.ac.jp/research/">https://www.kanagawa-u.ac.jp/research/</a>	
業務範囲	発明の発掘 各種契約実務 安全保障貿易管理	発明の特許化 共同研究・委託研究の組成 研究倫理教育	特許管理	ライセンス イベント出展	技術相談 利益相反マネジメント
活動の特徴・ アピール点・ 技術移転事例等	<p>神奈川大学は、2021年のみなどみらいキャンパス開設を第二の開学と位置づけるとともに、2028年の創立100周年に向け、「学校法人神奈川大学将来構想実行計画2018-2028」を策定しました。ここでは、「世界に開かれた国際都市・YOKOHAMAの総合大学として、多様な価値観が存在し、液化化が進む混迷の時代を先導するため、研究分野においても時代を切り拓く未知の分野や人類の課題に積極的に取り組んでまいります」と謳い産業界・地域社会との連携を通じて、SDGsへの対応、地域課題・地球課題の解決に貢献していきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 産学連携実績: 企業との連携案件は180件(2025年度 2024年度比109%)となり、そのうち約50%が材料・プロセス関連。</li> <li>2. 産学連携契約多数: 材料・プロセス分野が50%以上を占めています。</li> <li>3. 三相乳化技術の社会実装: 化粧品、食品、洗剤等で多くの企業にライセンス中で、累計すると億単位のライセンス収入を得ています。 今後は、材料、農業、医薬等の社会的インパクトの大きなB to B産業へのシフトを検討中です。</li> <li>4. 新たな特許技術の産学連携推進 (1)「不要になったら直ちに分解できる酸化分解性ポリマー」: 対象材種、分解プロセスの選択枝拡大中です。 (2)「亜臨界水を用いた使用済みフッ素樹脂の分解、材料リサイクル」</li> <li>5. 若手研究者の研究成果掘り起こし: ナノコンポジット材料の開発に不可欠な汎用分散技術の特許出願し、重点的に技術露出した。三相乳化原理にヒントを得た有望かつユニークな技術であり、ナノテク展2025でも注目を集めた。複数社から引き合いがあり、サンプル供試することとなった。これをきっかけに、この分野の汎用技術として発展させたいと考えています。</li> </ol>				
扱う知財の 特徴・分野・件数 等	<p>新規材料の化学合成及び材料関連プロセスに強みがあります。保有特許の内約半数はこの技術分野であり、特に三相乳化技術関連特許は全体の約30%を占めています。</p> <p>【特色ある研究成果】 三相乳化技術、酸化分解性ポリマー、亜臨界水を用いたフッ素樹脂化合物の分解技術、高分子重合用新規触媒物質、酸素吸蔵材料、振動エネルギー流れの可視化等 本学の研究シーズ(特許等)はこちらで公開しています。 <a href="https://www.kanagawa-u.ac.jp/research/technologies/">https://www.kanagawa-u.ac.jp/research/technologies/</a></p>				